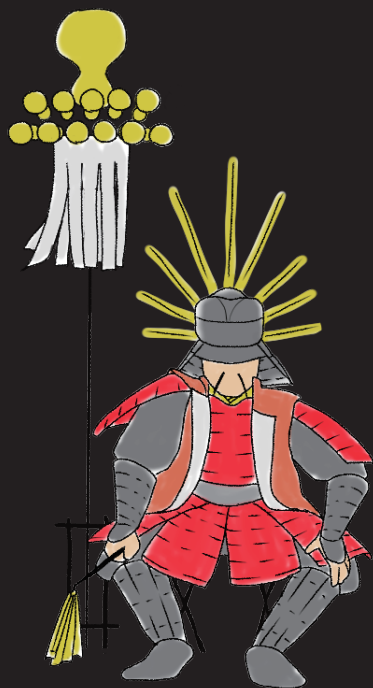


光★メーター 2

MITSU-METER



日本中が見守った11日間の天下が待望の書籍化！

あたりまえ。
だけど知らないストーリー。

長岡京市のホームページで全話公開中！





みつめーたー 光 Meter とは？

天正10年（1582）6月2日、明智光秀が織田信長を京都の本能寺で討ちました。のちに「本能寺の変」と呼ばれる事件です。その後、6月13日、光秀は山崎と勝龍寺城の間で羽柴秀吉との戦いに敗れ、逃げる最中に落ち武者狩りにあい、命を落しました。これが、光秀についてよく知られているストーリーです。

しかし、本能寺の変から、山崎合戦までには11日間という隙間の時間があります。その間、彼はどこで、なにをしていたのでしょうか。ぼーっとしていたのでしょうか。そんなことはありません。光秀は

信長亡きあとの天下を治めるために、目まぐるしく動いていたのです。

光★メーターは、そんな、光秀の長いように短い11日間のカウントダウンを刻む、四コマ漫画です。皆様には、刻々と迫る終わりを感じながら、躍動する光秀の姿をご覧いただき、光秀や、その周辺にいた人物、時代背景、その他諸々の学習のきっかけとしていただければ幸いです。

天正10年6月2日 本能寺

信長：ん？もう朝かいな。

織田信長がスマートフォンで何か動画を見ています。動画のタイトルは「光-meter」



信長：この「光-meter」っておもしろいな～。

つい見すぎてしもたわ。けど実際にあったら怖いな～。

おや、外が騒がしいですね。



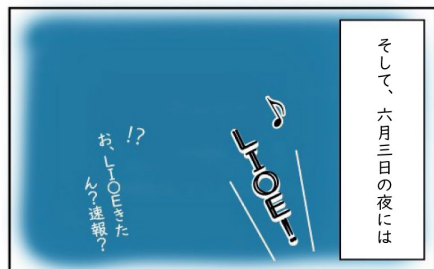
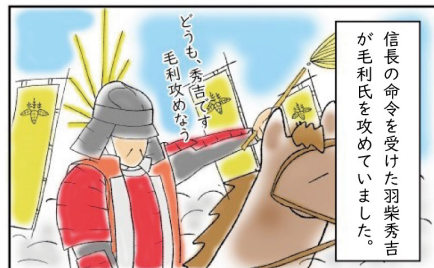
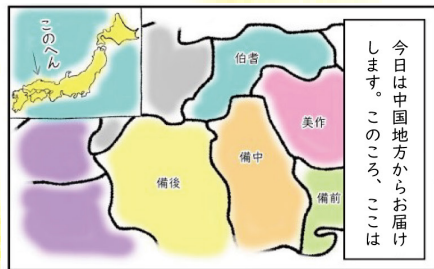
光秀：敵は本能寺にあり～！！

信長：え？まじかよ・・・。

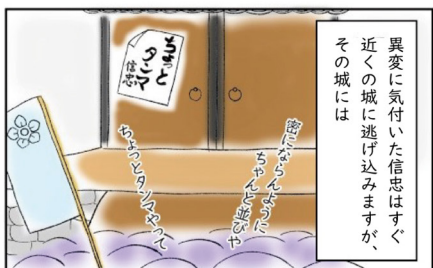
四コマ漫画
「光-meter」
第2期 始動



六月三日



六月二日



作者

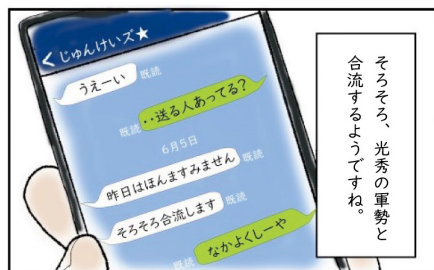
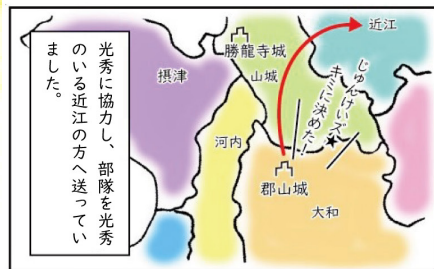
第二期のはじまり、はじまり。

やりましたね。先生。

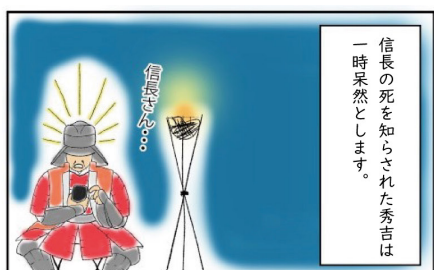
編集者



六月五日



六月四日



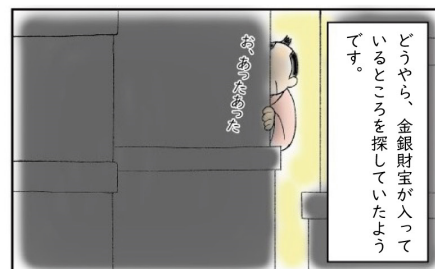
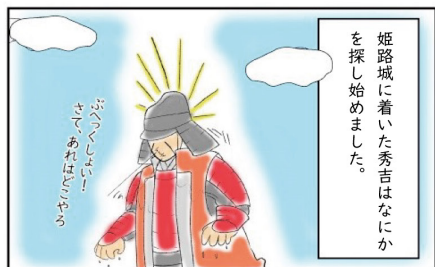
アシスタント

先生。絵はこんな感じで大丈夫でしょうか？

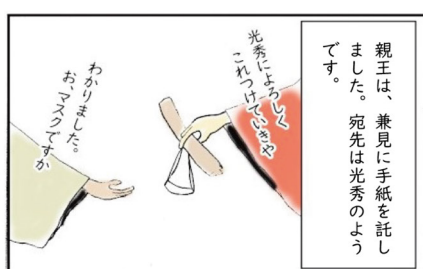
いいでしょう。

作者

六月七日



六月六日



編集者

先生。なんか作風変わりました？

そうですか？問題ないと思いますが・・・

作者

光-meterの登場人物たち

(名前・天正10年時点の年齢・ひとこと)



こんにちわ

よしだ かみみ
吉田 兼見 48歳

京都の吉田神社神主です。
日記を書いています。



明日が出番か

ほそかわ ただoki
細川 忠興 20歳

細川藤孝の息子です。妻の
お玉さんと会えなくてつらい。



変の後、出家しました

ほそかわ たけだか ゆうさい
細川 藤孝(幽斎) 49歳

忠興の父です。光秀さんは
親友だと思ってます。でも・・・。



ござげんよう

さへひと しんのう
誠仁 親王 31歳

次の天皇候補やで。本能寺の変
の時はほんま死ぬか思たわ。



おおきに

さとむら じょうは
里村 紹巴 58歳

光秀さんと藤孝さんの遊び
仲間です。特技は連歌です。



ども

つつい じゅんぺい
筒井 順慶 34歳

大和(奈良県)の代表者です。
光秀さんには世話になりました。



お久しぶり

あけち みつひで
明智 光秀 68歳?

みんなまぎこんじゃって
ごめんね。



ういーっす

はしば ひでよし
羽柴 秀吉 46歳

中国大返し中やで。天下は
わしのもんじゃい。

アシスタント

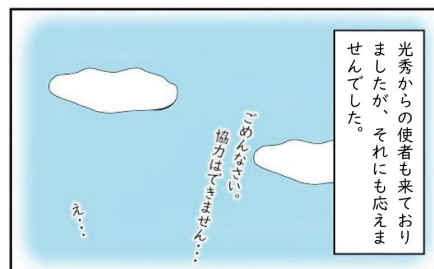
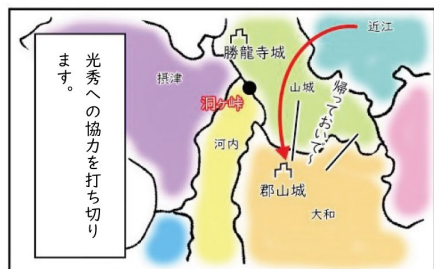
先生。吉田兼見むずかしいです。

がんばってください。

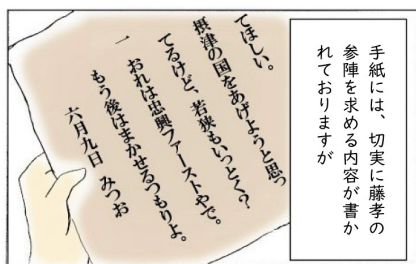
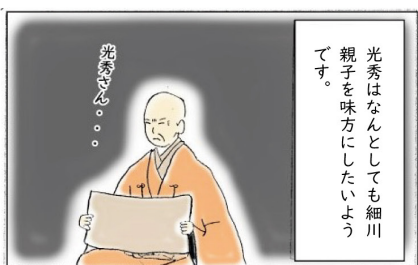
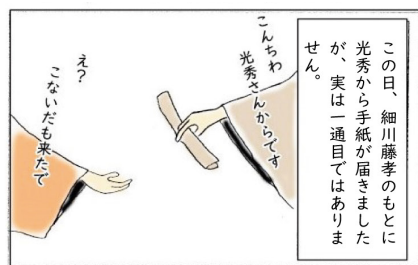
作者



六月十日



六月九日



編集者

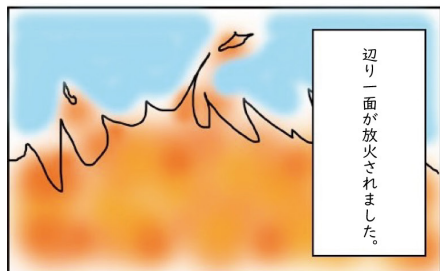
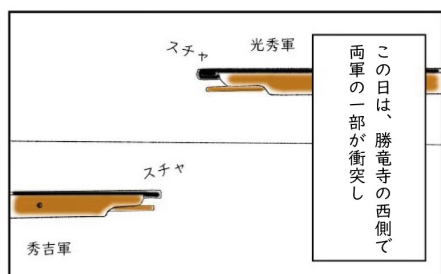
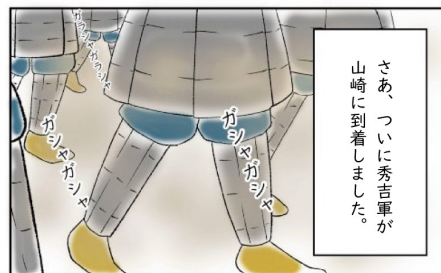
ところで、先生は仕事中に漫画描いてるんですか？

そうです。いいんです。

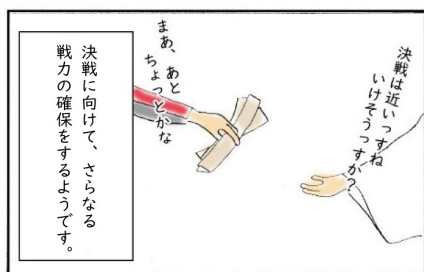
作者



六月十二日



六月十一日



編集者

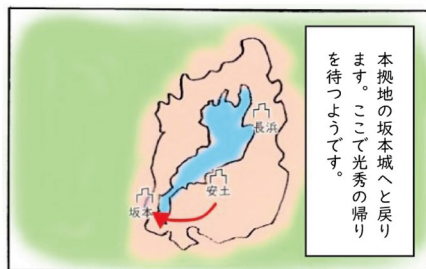
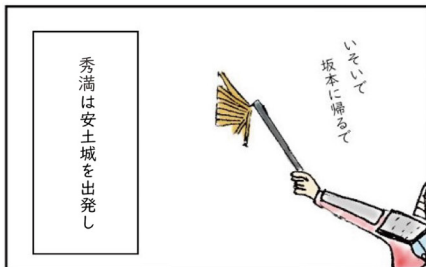
現地取材も仕事に行くんですか？

さすがに休みの日に行きます。

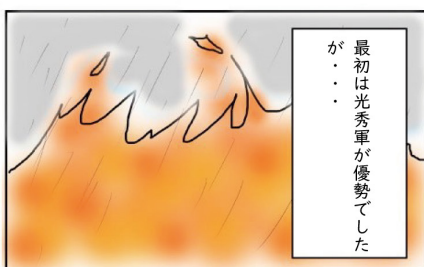
作者



六月十四日



六月十三日



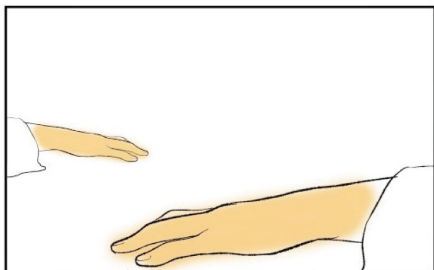
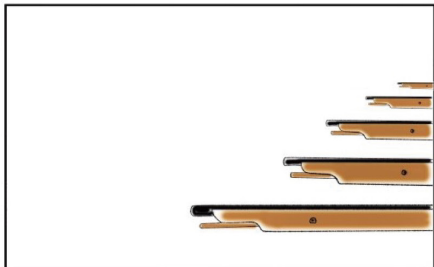
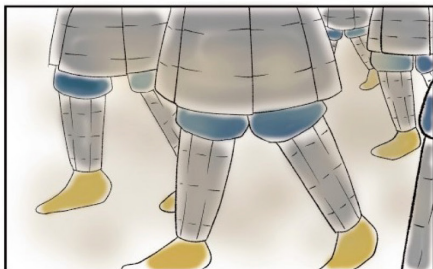
作者

もう、終わりか。この仕事だけやりたい・・・

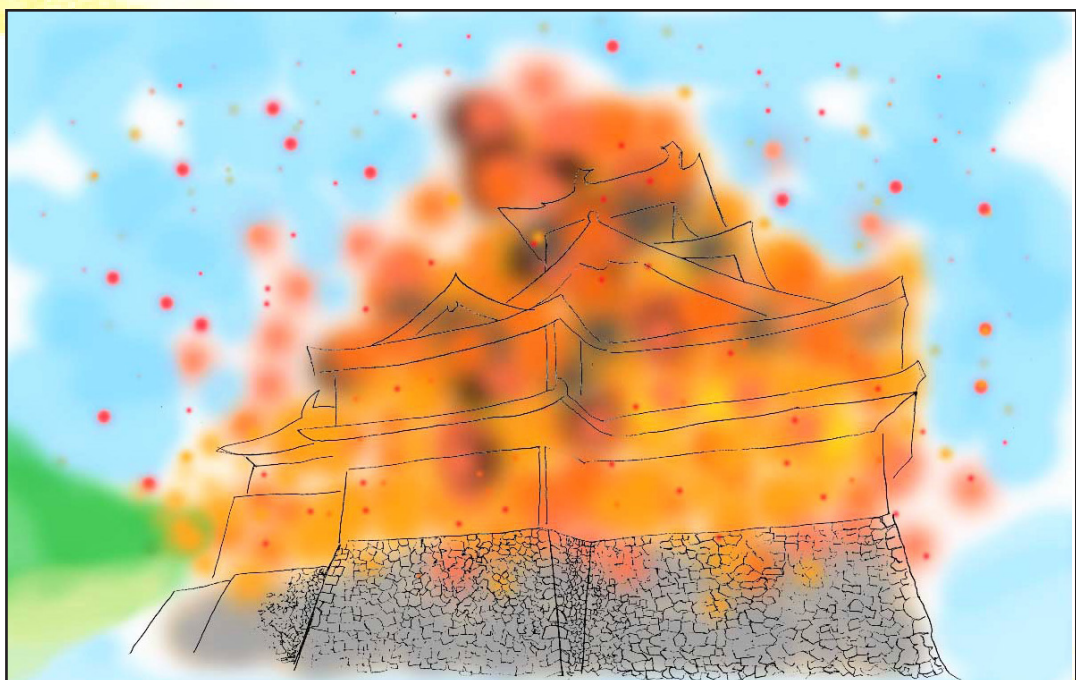
先生、次はアナザーストーリーでいきましょう!

編集者

エンディング



Fin



四コマ漫画「光-meter」

元ネタはコレだ! part3

『明智光秀と近江・丹波』

分国支配から「本能寺の変」へ

福島克彦 サンライズ出版

明智光秀といえば、やはり本能寺の変ですが、そこに至るまでに、織田信長のもとで彼が行ったことは数多くあります。その中でも丹波の攻略は光秀にとって大きな事業でした。

この書籍では、丹波攻略の前段階から、攻略が完了するまで、そして、完了後の支配のあり方までが、分かりやすく紹介されています。

あまり知られていないけれども、光秀にとって色んな意味をもった「丹波攻略」について知るには、この本を攻略することから始めてはいかがでしょう。

制作担当(一)





〈発行〉

長岡京市教育委員会 文化財保存活用課（図書館 3F）